

No. 134

令和8年11月

／ こんにちは ／



豊前市議会です



東松島市議会の視察研修の様子（令和8年7月29日）

CONTENTS 目次

9月定例会（8/28～9/18）主な内容

議案の概要・決算特別委員会の報告	2～3P
令和8年9月定例会 議案審議結果	4P
一般質問・視察の報告	5～11P
トピックス・編集後記	12P

議会へのご意見をお寄せください

発行 / 豊前市議会
豊前市大字吉木955
TEL 82-8137（直通）

ホームページ/
<https://www.city.buzen.lg.jp>



議案の概要

第4回定例会

令和8年第4回定例会は、8月28日から9月18日までの22日間の会期で開催されました。

市長より、条例案件4件、補正予算1件、決算案件9件、報告案件7件、その他案件2件の合計23件が提出されました。

それぞれ所管の委員会では慎重に審査した結果、原案どおり可決・認定されました。

なお、議案第45号・第46号・第47号・第54号・第55号については、反対討論がありました。

最終日には、市長より、人事案件が提案され、いずれも原案どおり同意されました。

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。

人権擁護委員

(敬称略)

豊前市大字六郎

江良真由美

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。

(敬称略)

固定資産評価審査委員会

委員

豊前市大字八屋

高瀬 忠通

教育委員会委員

豊前市大字中村

森永 弥代



《令和8年度一般会計補正予算の概要》

令和8年第4回定例会「令和8年度一般会計補正予算(第2号)」の審査を行いました。
各常任委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第44号】 令和8年度豊前市一般会計補正予算(第2号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇総合福祉センター費	4,620千円
◇放課後児童健全育成事業	5,324千円
◇保護費等追加給付事業	3,204千円
◇扶助費(生活保護)	4,234千円
◇老朽危険家屋等除却促進事業補助金	3,000千円
◇麦類生産技術向上事業	4,401千円
◇道の駅整備事業補助金	7,494千円
◇観光客受入環境整備事業	1,744千円
◇ほ場整備(三毛門北部地区)発掘調査事業	11,395千円
◇野球場費	6,245千円
◇農業用施設災害復旧費	44,454千円

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎郡司掛八千代○宇都宮正博・爪丸雄太・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・秋成英人
文教厚生委員会	◎梅丸晃○為藤直美・渡辺美智子・増田泰造・村上勝二・内丸伸一・岡本清靖
産業建設委員会	◎秋成英人○梅丸晃・宇都宮正博・爪丸雄太・渡辺美智子・増田泰造・平田精一
議会運営委員会	◎為藤直美○秋成英人・爪丸雄太・増田泰造・梅丸晃・郡司掛八千代
決算特別委員会	◎爪丸雄太○渡辺美智子・宇都宮正博・増田泰造・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・秋成英人・郡司掛八千代・平田精一

住民の納得できる予算執行が
なされたか？

令和7年度の 一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、決算特別委員会が設置され、一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月15日～16日の2日間にわたり開催し、令和7年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では執行部に対して多くの質問や指摘がなされましたが、申し入れ事項は次のとおりです。



決算特別委員会の申し入れ事項

- ◎各事業について、費用対効果を適切に検証し、その結果を次年度に反映すること。
- ◎公共施設については、安全対策に努め、備品については、管理を徹底すること。

以上、申し入れました。

文教厚生委員会の申し入れ事項

- ◎各特別会計決算については、各課で課題を見つけ、改善し、来年度予算にいかすこと。

産業建設委員会の申し入れ事項

- ◎水道事業会計及び公共下水道事業会計については、他会計補助金に過度に依存することなく、今後も引き続き、なお一層の収納率向上に努め、経営改善を図ること。
- ◎水道事業と下水道事業については、受益と負担の公平性を保つため、経営戦略に基づいて、収益改善に努めること。

以上、申し入れました。

令和8年9月定例会 議案審議結果

「○」… 賛成 「●」… 反対

「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案 番号	議 案 等 の 名 称	審議 結果	宇 都 宮 正 博	爪 丸 雄 太	渡 辺 美 智 子	増 田 泰 造	梅 丸 晃	村 上 勝 二	為 藤 直 美	内 丸 伸 一	秋 成 英 人	郡 司 掛 八 千 代	平 田 精 一	岡 本 清 靖	賛 成	反 対
議 案 第40号	豊前市行政手続条例の一部改正について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第41号	豊前市印鑑条例の一部改正について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第42号	豊前市収入印紙等購買基金条例の一部改正について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第43号	児童福祉法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第44号	令和8年度豊前市一般会計補正予算(第2号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第45号	令和7年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	10	1
議 案 第46号	令和7年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	10	1
議 案 第47号	令和7年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	10	1
議 案 第48号	令和7年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第49号	令和7年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第50号	令和7年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第51号	令和7年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第52号	令和7年度豊前市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第53号	令和7年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議 案 第54号	財産の取得について	原案 可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	10	1
議 案 第55号	財産の取得について	原案 可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	10	1
諮 問 第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議 なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
同意案 第3号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
同意案 第4号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0



議長
岡本 清靖



副議長
平田 精一

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問

(渡辺美智子議員)

- ① 危険家屋・老朽家屋対策における行政の対応と責任
- ② 学校再編事業、検証と見直し
- ③ ワンヘルス推進の検証と今後の方向性



(増田泰造議員)

- ① 「手話リンク」の導入
- ② 身寄りのない高齢者の方の終活と御逝去後の支援



(郡司掛八千代議員)

- ① 国民健康保険、介護事業、健康対策、公衆衛生
- ② 豊前市における小・中学校の未来像とは



(梅丸晃議員)

- ① 災害における公助
- ② 木質バイオマスの推進



(爪丸雄太議員)

- ① 病児保育
- ② 豊前ICを活用した地域活性化



(為藤直美議員)

- ① 学校再編と教育行政
- ② 廃校利用
- ③ 人口減少問題への対策



(宇都宮正博議員)

- ① 学校再編と財政運営



(村上勝二議員)

- ① 豊前市民の安全と平和を守る取組み
- ② 社会保障制度の充実と人権を守る市政
- ③ 小中統廃合計画の小学校建設



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておきますので、お気軽にご覧ください。

危険家屋・老朽家屋対策における行政の対応と責任について



渡辺 美智子

た。もう少し気をつけるべきだった。

渡辺議員 行政代執行を含む法的対応を検討したことが、今まであるのか。そして、検討したこと、経験がなければ、どのような判断基準で対応を見送ったのか。

生活環境課長 今までも行政代執行の検討はしていない。

渡辺議員 現在、市内に行政代執行等の対象となり得る老朽危険家屋を、市としてどの程度把握しているのか。そして、その危険度をどのような基準で判断しているのか。

生活環境課長 どの物件がという検討はしていない。

渡辺議員 危険家屋担当部署と道路管理部署との情報共有、危険度の高い案件を庁内で速やかに判断する体制、所有者との協議が長期化した場合の安全対策、必要に応じた行政代執行等への判断基準を整えておく必要があると考える。

今回の一連の対応について

て、市長として、どのように検証し、今後、職員一人一人が市民からの危険を知らせる声を聞き逃したり、見過ごしたりすることなく、必要な情報を組織内で共有して、早期対応につなげるために、どのような指導を行っていくのか。

市長 今回のケースを教訓にしなければならぬ。課をまたぐわけであり、それをつなぐのが、副市長や調整官という役割である。今後は、調整官や副市長が、職員や担当課長と連絡を密にし、どのような対応ができるか、組織的に縦割りではなく横割りを目指していく。相談できる体制、情報を共有できる体制をとるために、今まで不十分なところも見えてきたので、調整官ともども相談しながら、どういうふうにするのが一番効果的で、そして市民のためになるのかということを検討していく。

身寄りのない高齢者の方の終活と御逝去後の支援について



増田 泰造

ても、制度を創設してはいなかった。

長寿支援課長 豊前市では、現時点で制度の導入はないが、今年度、終活情報を記載できる「豊前市わたしの未来ノート」を作成している。人生の終わりに向かい、思いや希望を整理することは、安心して暮らし続けるためにも重要と認識している。

増田議員 逝去後の支援について伺う。身寄りのない高齢者が亡くなられた場合、葬儀や家財処分、行政手続きなど、様々な手続きが発生するが、本市ではどのような支援体制になっているか。

福祉課長 生活保護受給者及び生活困窮者が亡くなられた場合の死後事務については、関係法令に基づき適正に処理するよう国から指示書が届いており、それに基づいて対応している。

増田議員 社会福祉協議会と連携し、身寄りのない高齢者の終活・逝去後支援窓口を設置する考えはあるか。

長寿支援課長 関係団体と慎重に協議をしてみたい。

増田議員 身寄りのない高齢者が最後まで安心して豊前市で暮らし、本人の希望に沿ったかたちで人生を終えることができるよう、終活から逝去後までを支援する、豊前市版逝去後支援事業を構築するお考えはないか、見解を伺う。

市長 逝去後の扱いについて、自身の意思を示しておくことは非常に大切である。家族と終活を前向きに話し合うツールとして「豊前市わたしの未来ノート」を大いに活用していただきたい。身寄りのない方への対応については、どういう形が豊前市として一番効果的なものができるか、考えたいので、お時間をいただきたい。

増田議員 ぜひ、よろしく願います。

国民健康保険、介護事業、健康対策、公衆衛生について



郡司掛 八千代

郡司掛議員 公衆衛生とは、社会や集団全体を対象として健康を守り、病気を予防する取組のことである。なぜ、公衆衛生を議題にしたかというと、福岡県を賑わせているワンヘルスがあるからである。平成28年11月に北九州で開催された第2回世界獣医師会・世界医師会ワンヘルスに関する国際会議で福岡宣言が採択された。これを受け、福岡県は令和2年12月に福岡県ワンヘルス推進基本条例を制定し、令和4年3月にこれを具体化した福岡県ワンヘルス推進行動計画を策定した。豊前市においても、ワンヘルスの重要性を認識し、その理念に則り、人と動物の健康と環境の健全性を守り、次世代に継承していくため、福岡県ワンヘルス推進行動計画に連携協力し、ワ

ンヘルス実践施策を積極的に推進している。この関係だと思われるが、令和8年3月に豊前市新型コロナウイルスエンザ等対策行動計画を作成している。その中で、「パンデミックを引き起こす病原体として人獣共通感染症であるものも想定される。パンデミックを予防するためにも、「ワンヘルス」の考え方により、ヒトの病気等に注目するだけではなく、ヒト、動物及び環境の分野横断的な取組が求められる。ワンヘルス・アプローチの推進により、人獣共通感染症に対することも重要な観点とある。インフルエンザや新型コロナウイルスは、今まで以上に感染率が高くなってくると思われるが、市としての対応策をお尋ねする。

こども・健康課長 市民の命と健康を守るため、平時からの備えを重視し、予防の取組を進めている。予防接種法に基づく各種定期予防接種を実施し、特にインフルエンザにおいては、市独自に生後6カ月から年度



内に15歳になる方及び妊婦を対象に費用を助成している。集団生活における感染拡大防止と重症化予防に努めているが、適切な感染予防策の情報提供、広報などについて、今後も行っていきたい。国・県の動向や地域の感染状況を適切に注視しつつ、感染予防対策に取り組んでまいらる。

郡司掛議員 病気がまん延すれば市の負担が増える。最新の情報に注意して対処していただくようお願いする。

梅丸議員 激甚化する豪雨災害に備え、災害対応を属人化させず、担当課長や防災担当者だけでなく、全職員が災害時の役割を理解し、訓練を受けている状態をつくることが重要である。災害の発生前から発生後まで、誰が、いつ、何を、するか明確になっているか。どの職員も自分の行動を即答できる状態であるのか。



梅丸 晃

総務課長 地域防災計画で職員の配備基準を定め、災害準備本部、災害警戒本部、災害対策本部の2段階を合わせた4段階の配備態勢としている。広範囲の災害が予測される場合は、最上位の災害対策本部第3配備態勢で全職員が参集する。総務班、救助班、防疫衛生班、経済対策班、調査協力班等を編成し、各課の業務との関連に応じて配置

災害における公助について

する。この態勢を実際に取ったことはなく、全職員が行動を把握しているとは言えない。地域防災計画の見直しも考えられるが、現状でも、所属長が配備態勢や行動を理解できる研修の機会を設け、計画の概要版を配布して確認してもらうことが必要と考える。平時から職員の防災意識の向上に努める。

梅丸議員 豪雨は地震と異なり、事前にある程度の情報を収集しながら対策を練ることができる。各職員による計画の再確認と防災意識の向上に取り組んでほしい。昨年の9月議会でも自助・共助・公助について提言し、市長も防災対策の必要性を再認識したと思う。今後の災害対策本部訓練と職員の災害対応について、市長の考えは。

市長 マンパワーや状況の問題で、昨年、質問を受けた訓練などは実施できておらず、申し訳なく思っている。昨今の災害は激甚化することも多く、いつ、どこで

起こるか分からず、その備えをやつていかないのは、住民の生命と財産を守るうえで、怠慢になると思う。災害対策本部を設置する訓練を行っていないければ、初動態勢が取れるか分からない。関係者と協議し、1、2年以内には災害対策本部を設置する訓練を行わなければならないと認識している。

梅丸議員 首長には災害発生時に迅速かつ適切な対応を行うために陣頭指揮を執り、現場優先で状況に応じた判断と行動が求められる。そのためには、やはり災害対策本部の訓練を実施して、職員が迷わず動けるスキルを身につけることが必要である。首長一人に災害対応の責任を負わせるつもりはないが、それくらいの覚悟も必要であり、準備と訓練を徹底して行っていたかどうかをお願いする。

豊前ICを活用した地域活性化について



爪丸 雄太

長の考えを伺う。

爪丸議員 東九州自動車道は、防災や地域振興の面

市長 早期の4車線化は、京築エリアや福岡県としてしっかりとやらなければならないインフラ整備である。今後

めしていく。

爪丸議員 豊前ICや臨海部、駅周辺を結ぶ「宇島久

爪丸議員 豊前IC周辺への公共下水道の整備は、企業誘致につながるかと考えるが、今後、計画はあるか。

都市住宅課長 令和7年9月、市長と議長が福岡県議会へ要望書を提出した。引き続き、道路整備の重要性を県に要望していく。

建設課長 北九州JCTから苅田北九州空港ICまでの4車線化が完了し、現在、みやこ豊津ICから椎田南ICまでの4車線化が進められているが、今後の予定は未定である。沿線自治体で構成する東九州自動車道福岡県北東部建設促進協議会と連携し、国土交通省やNEXCOに対し、引き続き要望していく。

爪丸議員 豊前IC周辺の観光導線について伺う。観光客をスムーズに誘引し、地域内での滞在時間や消費額を増やすため、どのようなかたちで観光導線を確保しているか。

市長 IC周辺は非常に可能性がある地域。今後の豊前市の状況によって、整備を順次進めていかなければならないと思う。

爪丸議員 スピード感を持って取り組んでいた

市長 豊前市がますます活性化することを期待する。

爪丸議員 東九州自動車道の4車線化について、市

爪丸議員 豊前IC周辺への公共下水道の整備は、企業誘致につながるかと考えるが、今後、計画はあるか。

市長 IC周辺は非常に可能性がある地域。今後の豊前市の状況によって、整備を順次進めていかなければならないと思う。

爪丸議員 スピード感を持って取り組んでいた

市長 豊前市がますます活性化することを期待する。

爪丸議員 スピード感を持って取り組んでいた

廃校利用について



為藤 直美

今後は、地元等にも説明をしてご理解をいただきたい。

為藤議員 ほとんどが除却するということだが、除却の金額について伺う。

市民協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

市協働課長 仮に、候補となる学校をすべて除却した場合、1万239平米で6億1,000万円程度が見込まれる。また、八屋中

角田小・合岩中	企業誘致
角田中・山田小 大村小・黒土小 横武小	校舎：除去等 体育館等：地域で活用
千束小	校舎：公民館移転等 体育館等：地域で活用
八屋中	施設等：除去等

市民協働課長 学校跡地利用については、地域の要望をいただいたうえで、庁内会議や豊前市小中学校跡地検討会議の協議を経て、豊前市としての方針を定め、区長役員会において方針を提示した。

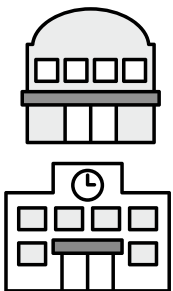
為藤議員 学校再編に伴う廃校活用については、地域でも特別委員会を立ち上げ、話し合ってきた。今回の学校再編見直しに合わせて、廃校跡地利用についての計画を伺う。

ため、企業誘致等は非常に困難なので、基本的には地域の方が集まる際の駐車場と考えている。

為藤議員 上毛町は、高校跡地を住宅地にして約70軒の家が建ち、人口が増加している。こうした将来へのビジョンも踏まえ、市民に分かりやすく夢のある説明をお願いしたい。豊前市の未来をかけた学校跡地利用について、今後の計画と進め方について伺う。

副市長 体育館やグラウンドを使いたいという地域の要望があるが、企業誘致や住宅政策を打つとなつたときには、地域の方に体育館は隣の学校を使ってもらえるなどの調整も必要になってくる。プラスになるような方向で、活気のある地域にしていきたいと思う。

為藤議員 有識者とともに協議をし、理解を深め、審議会を立ち上げ、官民連携した取り組みをお願いする。



学校再編と財政運営について



宇都宮 正博

宇都宮議員 当面の間存続する3つの小学校について、今後の教育環境や財政面への影響を明らかにする必要がある。市長は3校の老朽化や児童数について、どのように把握・検討したのか、伺う。

市長 10年後までは、3校は複式にならないであろう統計が出ており、財政面と児童の動向を鑑みて10年後の再編計画を立てるという結論に至った。

宇都宮議員 3校について現地で確認すると、雨漏りによる内装材の傷みや風化が各所にみられる。内装材にアスベストを含んでいれば、破損や風化でアスベストが飛散する可能性がある。アスベスト調査を検討しているか。

学校教育課長 改修工事では事前調査を行い、必要な措置をとってまいる。

宇都宮議員 長年雨漏りが放置され十分管理されなかつた建物は、本来の寿命より早く構造的限界が来るものもあるようだ。南海トラフ地震では最大震度5強の予想もあるが、耐震基準適合や躯体劣化の調査について考えを伺う。

教育長 耐震については大丈夫との評価を受けており、再評価が必要との認識は持っていない。

宇都宮議員 老朽化対応について市長の考えは。

市長 延期することを決めた以上、3校それぞれ優先順位を決め、直さなければならぬ。

宇都宮議員 児童数の将来見通しでは、3校とも令和11年度に全ての学年で1クラスになり、10年経たずに1クラス15人以下になる予想だ。これについて教育長はどのように見ているか。

教育長 極小規模校になっていくと思うが、精一杯活動ができるよう支援していきたい。

宇都宮議員 財政面から

考えると、4億円を超える3校の改修費は公適債の対象になるか。また、この3校を一つの小学校に再編した場合はどうか。

財務課長 現状では、公適債の適用はないが、3校を1校に集約し、条件が整えば適用になると思われる。

宇都宮議員 市長の見直し案では、中央小学校や義務教育学校との間に教育格差を生むのではないか。最適解を見出すことが我々の責務である。公適債が使える形で再編を進める考えについて、教育長と市長の見解を伺う。

教育長 児童数が減ったときのことを考えれば、検討する価値はある。

市長 可能性は調査する必要があると思う。地域の声も聴きながら調整していくことも必要だと思う。

宇都宮議員 検討から開校まで最低4〜5年の期間が必要である。スケジュール感をもって、状況把握に努め、積極果敢に取り組んでいただきたい。

豊前市民の安全と平和を守る取組みについて



村上 勝二

村上議員 豊前市は、非核・恒久平和都市宣言をしているが、自衛隊に対して名簿の提供をしている。個人情報提供が憲法違反ではないかと裁判にもなっている。前回、撤回を求めたが、その後どうなったのか伺う。

総務課長 現状として、自衛官募集に伴う名簿提供は、該当する年齢の方々の住所・氏名を宛名シールで提供している。この宛名シールというやり方は、再利用ができないこと、併せて使用後に廃棄することをお願いしており、個人情報の管理を徹底するというかたちで継続している。

村上議員 次に、公務員の皆さんに直接かわる問題だと思うが、予備自衛官等兼業特例法が、6月に採択された。まずこの説明と市としての対応を伺う。

総務課長 予備自衛官とは、普段は会社員や学生など、それぞれ本業を持ちながら、有事や災害などの際に招集され、自衛官の立場で活動する非常勤の特別職国家公務員である。この特例法では、一般職の地方公務員は、予備自衛官等の職務に従事することについて、任命権者の承認を受けることができ、承認を受けた職員が招集命令等を受け、招集に応ずるため勤務しない場合は、職務専念義務を適用しない。職員に対して一旦承認をすると、自治体や本人の事情に関係なく、招集命令等が発せられる場合もあり、その際に、市の業務に支障が出たり、本人の家庭、職場にも影響が出てくると考えている。

村上議員 自分は、特例法に反対だが、そういう国の指針・手法について、市長はこれに対していかがか。

市長 基本的には、予備自衛官の件は、現行法上でやらせていただきたい。

村上議員 なぜ公務員を中心に募集を進めている

か。近年、自衛官の定員割れが続き、充足率は、自衛官が約9割、予備自衛官が約7割など十分でなく、より自衛官の確保が政府の至上命題となっている。

併せて小・中学校での平和教育は今どうなっているか、伺う。

学校教育課長 平和教育は、小・中学校で全ての教育活動を通じて実施されており、例えば、小学校では、修学旅行で長崎県や広島県を訪れ、平和公園や原爆資料館の見学、被爆者に直接話を聞く活動などを行っている。また、各学校は8月の平和を祈念する日に合わせて登校日を設定し、全校児童・生徒による平和集会と各学年の発達段階に応じた平和学習が行われている。

村上議員 被爆者は残り数年間でこの日本社会からいなくなっていく存在だ。それを継承し、語り継ぐことも、かなり厳しい。日本の平和が遠ざかるような現状をストップさせていくという任務が、私たちにあると思う。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかしたい

『新世清友会』の一般質問



平田 精一



内丸 伸一



秋成 英人

- (秋成英人議員)
- ① 災害時の対応
 - ② 学校再編

- (内丸伸一議員)
- ③ 学校教育
 - ④ 防災
 - ⑤ 企業誘致



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

学校再編について

秋成議員 長期的な視点で市政運営を考えたときに、学校再編計画の変更が、財政面だけでなく、総合的に考えて、何より子どもたちのために現時点での最適な選択であると執行部は判断した、ということでしょうか。ここから先は、大きな変更や立ち止まるということはできない、この大型事業の最後の分岐点だと考えるので、確認する。

市長 財政的な問題もあり、子どものことを考えると、どれが一番いいのだろうと悩み、最適なものは何かと考えてきた。今回の変更を変えるつもりはなく、約10年を目途に再編のあるべき姿を再度起こしたい。

秋成議員 学校再編事業について将来的な学校配置をどうしていくかという、最終的な方向性を想定しておく必要がある。豊前市立学校適正配置基本方針には、1学年が100名を切る児童生徒数が現実的となる段階では、最終的に2校に再編成する

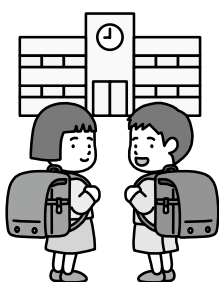
ことが必要である、また、2020年代に設置した統合中学校を小中一貫校としてさらに再編成し、義務教育学校との2校にすることを検討する、という内容の記載がある。豊前市の人口が減ってきて、存続する八屋小・宇島小・三毛門小の校舎も老朽化している状況の中で、最終的にこのかたちを目指していくということなのか、将来の方向性についてお尋ねする。

市長 現段階で、増築をして教室数が足りないという問題を解消しなければ1校にすることができないので、中央小学校を1校改修し、3校を延期させてもらう。10年後までは、宇島・八屋・三毛門に関しては、複式になることはないであろうという推計により、概ね、10年後から再編を検討する。そのときに1校または2校必要だという結論になるのかもしれないが、その将来の動ける方向性の幅を残したつもりである。

秋成議員 学校再編事業

は、豊前市の子どもたちのために教育環境や教育内容を充実させていくのが第一の目的であると思っている。計画変更を行う中でも、豊前市の子どもたちの教育が、格差なく充実したものになるように、また、そのための予算も確保できるように取り組みをお願いしたい。学校再編は、豊前市の教育で、魅力ある選ばれる市にしていこうといった面もある。豊前市に住みたい、子どもを学ばせたいと思ってもらえるような環境になるように、関連する部署でしっかりと連携をとって、取り組んでいきたい。

市長 豊前市が多くの市民に愛され、そしてこれから来る方にとっても、住みたい、働きたい、学びたいと思えるような学校にしていきたい。この再編事業が、豊前市を活力あるまちにする第一歩となるよう取り組んでいく。



学校教育について

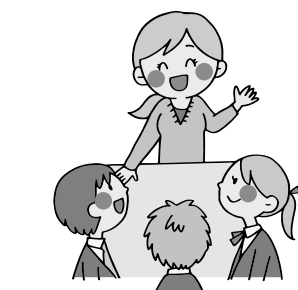
内丸議員 今回、私はさいたま市のグローバル・スタディの授業で実際に使用されている教材や授業内容のデータを市に提供したが、この教材を9年間のカリキュラムと照らし合わせて学年ごとの聞く・話す・読む・書くの到達目標や、学習内容を比較・検討していく考えはあるか。

学校教育課長 議員紹介の資料に関しては、本市の英語教育を深めるため、学校に紹介し、現在行っている授業やカリキュラムと比べながら、グローバル・スタディを分析する場を持った。今後、資料をもとに有効に活用をさせていただきたい。

内丸議員 グローバル・スタディが目指しているのは、単にテストの点数を上げるためだけではなく、実際に英語を使ってコミュニケーションする力を育てることだと考える。そこで、英検・I・B A等による客観的な英語力に加えて、英語で自己紹介ができる、英語で質問ができる、スピーチができる、プレゼン

テーションができるといった、4技能や発信力について、豊前市でも学年ごとの到達目標を設定し、成果を可視化してはどうか。

教育長 豊前も英語には力を入れている。小学校の3年生段階から外国語活動を年35時間行っており、中学校ではほかの市町に先駆けて、子どもの力にあわせて、聞いたり話したりできるA1アプリを活用した授業に取り組んで授業改善を図ってきた。学力調査やI・B Aテストにおいて、学年ごとの到達目標に基づいた客観的な学力分析等はこれまでもやっている。旧来の英語とは違って、アウトプットに通じる英語に授業スタイルが変わってきているので、今後、ぜひ具体的に進めていきたい。グローバル社会において、これから豊前の学校が選ばれるかどうかという意味でも、英語に力を置いているという発信をしていきたいと思っている。



内丸議員 せっかく貴重な資料を提供いただいたので、豊前市の英語教育にしっかりと役立てていただきたい。

9年間の一貫教育、地域資源などを組み合わせた豊前市独自の英語教育をつくり、それを学校再編後の特色ある教育として、市内外に発信していく考えはあるか。そして、そのための具体的な検討チームやプロジェクトを教育委員会内に設置する考えはあるか。

市長 豊前中学校が令和9年から開校する。まずは不登校やいじめがなく、生徒が中学校に通えるという環境をつくるのが第一義であろうと考えている。その後、デジタルではない、生のコミュニケーションも取れるような先生たちの配置も検討したい。

議会関係ハラスメント根絶のための議員研修



議員研修の様子

令和8年8月3日、福岡県議会主催の議会関係ハラスメント根絶のための議員研修に参加しました。株式会社メンタル・リンク 代表取締役社長・公認心理師 宮本剛志氏と違法・有害情報相談センター副センター長 牛腸綾香氏を講師に迎え、議会ハラスメント対策やインターネット上における誹謗中傷の事例・対策等について、ご講演いただきました。

研修内容を踏まえ、今後もハラスメントに対する理解をより一層深め、議員活動に努めてまいります。

産業建設委員会の視察研修



豊前耶馬溪線の視察の様子

令和8年9月11日、産業建設委員会終了後に、豊前耶馬溪線の現場に委員会、市長、副市長及び執行部で視察に行きました。

福岡県行橋農林事務所の職員から、林道整備事業や地域活性化事業の目的、内容、事業箇所について説明を受け、意見交換を行いました。

第12回 議会報告会を開催します!!

議会活動をご報告するとともに、市政や地域の課題などについて市民の皆様とお話する機会です。

事前申し込みは不要です。

皆様のご来場をお待ちしております。



日 程	時 間	会 場	対象地区
11月 7日(土)	13:30～	総合福祉センター	三毛門・黒土・千束
11月11日(水)	19:00～	合河公民館	横武・合河・岩屋
11月12日(木)	19:00～	山田公民館	角田・山田
11月13日(金)	19:00～	総合福祉センター	八屋・大村・宇島

※対象地区以外の会場でもご参加いただけます。

(議会報告会の時間は1時間30分程度です。)

編集後記

豊前市は令和5年12月5日に、安全で安心して暮らせる社会の実現を目指すため、福岡県の推進行動計画に連携協力し、市民とともにワンヘルス実践施策を積極的に推進することを表明。世界保健機関(WHO)も推進、世界で普及が進んでいる。人の健康と動物の健康を一体で守っていくというワンヘルスという考え方、これは大事です。県は、8月12日、ワンヘルス施策について、新規事業を当面凍結すると表明。市としてこのワンヘルス事業をどのように推進していくのか、見守っていきたい。

村上 勝二

次回の定例市議会
12月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
みなさんの傍聴をお待ちしています。
また、本会議については、インターネット中継
をしております。

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：渡辺美智子
委員：爪丸雄太 増田泰造
村上勝二
- 印刷 築上印刷有限会社